

自治体の課題、現状

生徒数の減少により、部活動が成り立たないケースが増えている。具体的には、大会への参加を合同チームとして行ったり、部活動を閉鎖したりする状況が出ている。学校部活動ではなく、地域のクラブチーム等に所属し、活動している生徒も多い。

また、教職員にとって、部活動が長時間労働の原因の1つとなっている。これらのことから、今後、学校部活動を継続していくことには課題があり、地域に運動や文化的活動に参加できる場をつくっていく必要があると言える。

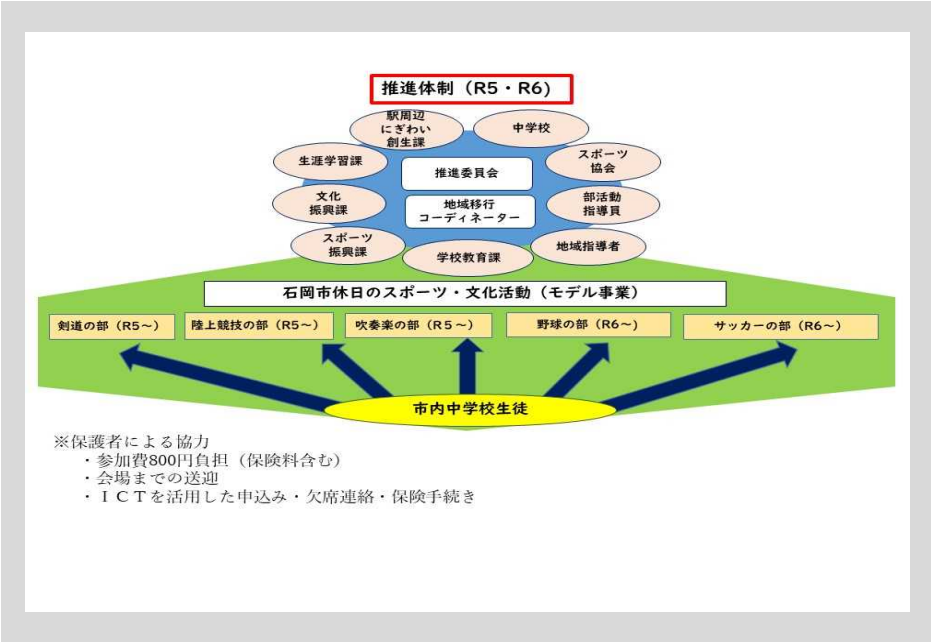
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	5 校	全生徒数	1577人
域内の部活動数	59部	実施した地域クラブ数	4 クラブ
全体の指導者数	116 人	全体の運営スタッフ数	14 人
主な運営団体	石岡市教育委員会		
主な種目	陸上競技、剣道、軟式野球、サッカー		
平均的な活動回数	0.5回/月 (年間 5 回)	年間平均参加生徒実数	2 年：6.6人 1 年：6.7人
参加会費	800円/年 (保険料として)	主な活動場所	石岡、八郷運動公園 府中中学校 柏原球技場 染谷、柏原野球場

地域移行関連の取組、成果

- ・専門性の高い複数の指導者から質の高い指導を受けることができ、参加した生徒の興味関心・技術の向上を図ることができた。
- ・市保有の公共運動施設を活用し、定期的に練習を行える場を確保することができた。
- ・練習の成果を発揮する機会として、試合形式やミニゲームなどを行うことで、生徒の満足感、充足感を得られるよう配慮した。

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県 石岡市

自治体名： 茨城県 石岡町
担当課名： 教育委員会教育課
電話番号： 0299-43-1111

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	総面積215.53 km ²
人口	70460 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	1577人
部活動数	59 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	策定済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当市では、4 種目が地域部活動として活動を行っている。少子化に伴い、従来から野球部やサッカー部では、他の中学校と合同チームによる活動を行ってきた。

本市の昨今の出生者数を見ると、児童生徒数は年々減少傾向にある。10年後には生徒数が令和 6 年度比の59%となることが推計され、団体スポーツの将来的な存続の難しさが予想される。

部活動の改革推進期間の3 年目となり、持続可能性と多様性による生徒のための地域部活動を第一に進め、同時に教職員の働き方改革の推進を目標とし、地域移行を進めている。

また、長年にわたり、部活動は自分が選んだ種目を3 年間継続するものという考え方が生徒、保護者、地域に根付いている。

今後、地域移行によって地域ぐるみで子供たちを心身ともに育成していくこと、子どもたちが自分で行いたい活動を自由に選べること、部活動が教育課程外のものであり教職員の働き方改革の点からもそ本事業の効果が見込まれることなどを、関係者や保護者に周知し、理解促進を図っていく。同時に地域移行の推進にあたって学校の教職員以外の地域内の指導者の発掘、確保を同時に進め、マルチスポーツの促進を図っていく。

石岡市の人口の将来推移



地域アプローチを活用した石岡市の人口減少対策より

【課題】

現在の石岡市の人口の将来推計を鑑みると、市全体の人口減少に伴い、児童生徒数も減少していくことが想定されている。

【中学生の人数（予測）】

R 6年度 1577人
R 13年度 1361人（86%）
R 17年度 937人（59%）
※括弧内はR 6との比較した割合

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



※保護者による協力

- ・参加費800円負担（保険料含む）
- ・会場までの送迎
- ・ICTを活用した申込み・欠席連絡・保険手続き

◎教育委員会

- ・ポスター作製、配布による生徒への周知、勧誘
- ・活動全般へのサポート（開錠・施錠、楽器の搬入搬出、楽譜の印刷配付）
- ・ICT活用による応募フォームや連絡フォーム等の作成

◎首長部局

- ・減免による施設の貸し出し（陸上競技場、体育館、球場、サッカー場）
- ・市報への情報掲載（広報いしおか、SNS（X、LINE））
- ・庁舎や公民館でのポスター掲示

年間の事業スケジュール

- | | |
|---------|--|
| 令和6年8月 | 関係団体ヒヤリング（指導者の派遣の調整） |
| 令和6年8月 | 第2回石岡市中中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会 |
| 令和6年9月 | 中体連への説明（校長会・専門委員会）
学校管理職を対象とした説明の実施
指導者、部活動顧問との話し合い |
| 令和6年12月 | 第3回石岡市中中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会 |
| 令和6年12月 | 「休日のスポーツ活動」チラシ配布、募集開始
休日の地域部活動・運動部開始
（陸上競技・剣道・サッカー・野球） |
| 令和7年1月 | 中学校新入生説明会での市教委による説明
休日の地域部活動・運動部実施
（陸上競技・剣道・サッカー・野球） |
| 令和7年2月 | 休日の地域部活動・運動部実施
（陸上競技・剣道・サッカー・野球） |
| 令和7年3月 | 休日の地域部活動に参加してのアンケート実施
（生徒・保護者・指導者）
事業完了報告書・成果報告書等の作成 |
| 令和7年3月 | 中学校の教員に向けた次年度についての説明会 |

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5 校	実施した地域クラブ総数	14 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4 クラブ（14部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	116 人	全体の運営スタッフ数	14 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは 末尾に（新）を 付ける	実施回数	実施時間 帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導 者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼 務）	会費	大会参加 方法
陸上競技の部	地域移行・ 団体等運 営型	陸上競技 の部	0.5回/月 （年間 6 回）	AM 9 時 ～ AM12時	2 年13名 1 年10名	R 6・12月 ～ R 7・2 月	石岡、八郷 運動公園	3 人	3 人（内、兼 務 3 人）	年会費 800 円（スポー ツ保険など）	中体連 ：部活動
剣道の部	地域移行・ 団体等運 営型	剣道の部	0.5回/月 （年間 6 回）	AM 9 時 ～ AM12時	2 年12名 1 年 8 名	R 6・12月 ～ R 7・2 月	石岡、八郷 運動公園	8 人	8 人（内、兼 務 8 人）	年会費 800 円（スポー ツ保険など）	中体連 ：部活動
軟式野球の部	地域移行・ 団体等運 営型	軟式野球 の部	0.5回/月 （年間 6 回）	AM 9 時 ～ AM12時	2 年 2 名 1 年10名	R 6・12月 ～ R 7・2 月	府中中学 校 柏原球技 場	2 人	2 人（内、兼 務 2 人）	年会費 800 円（スポー ツ保険など）	中体連 ：部活動
サッカーの部	地域移行・ 団体等運 営型	サッカーの 部	0.5回/月 （年間 6 回）	AM 9 時 ～ AM12時	2 年 4 名 1 年 2 名	R 6・12月 ～ R 7・2 月	染谷、柏原 野球場	1 人	1 人（内、兼 務 1 人）	年会費 800 円（スポー ツ保険など）	中体連 ：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 野球の部においては、最終日に市役所の野球チームとの練習試合を実施

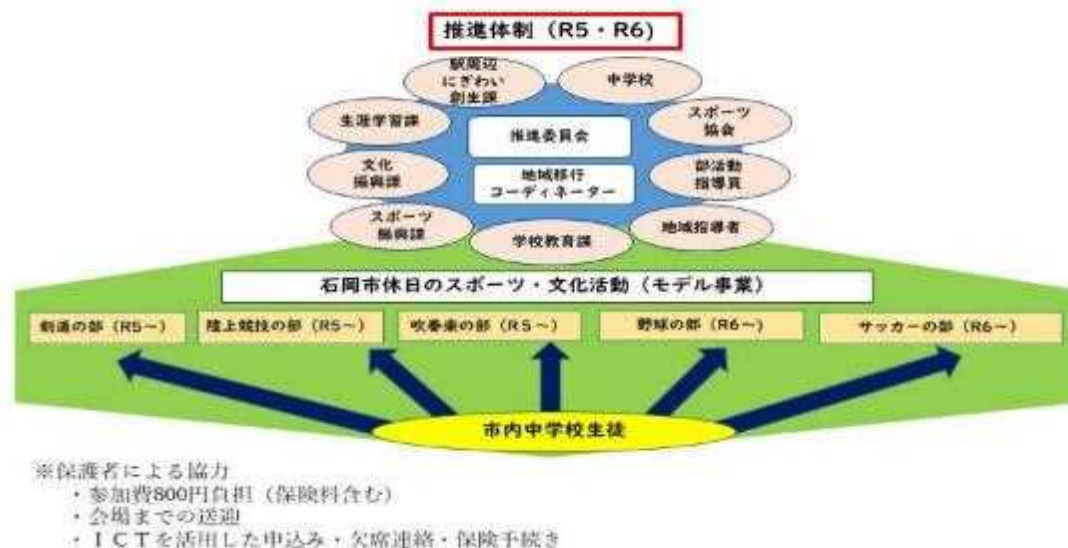
2.実証内容と成果

主な取組例

●青葉スポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、剣道、軟式野球、サッカー
運営団体名	石岡市教育委員会
期間と日数	12月14日～2月24日 月2回程度
指導者の主な属性	市陸上競技連盟、市剣道連盟、 少年野球指導員、少年サッカー指導員
活動場所	石岡運動公園、八郷運動公園 府中中学校、柏原サッカー公園 染谷野球場、柏原野球場
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり ：1,850円/年（64歳以下） ：1,200円/年（65歳以上）

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：各活動をまとめる管理者として、学校、保護者、指導者との連携を行う。

●主任指導者 4名

役割：各活動における主任者として、生徒への指導に関わるとともに各団体内部での連絡調整を行う。

●運営補助者

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○広域的な活動を行う統括コーディネーターの役割を教育委員会が担い、関係団体・指導者との連絡調整・指導助言等を行う。

○運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制づくりを行う。

○参加者の募集、出欠席の管理、悪天候時の態度決定など、参加者・指導者への連絡等にICTを活用し効率化を図る。

取組の成果

○統括コーディネーターとして市教育委員会が運営団体となり、一元化して進めたことにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。

○関係団体の新規開拓を図り、本年度は昨年度実施の陸上競技、剣道に加え、軟式野球、サッカーを加えた4種目に広げて活動することができた。

○ICTを活用し、申込や保険加入に必要な個人情報の収集にあたり、入力用のフォームやQRコードを作成し、メーリングリストによる入力を取り入れた。参加希望者とのやり取りが迅速に対応でき、参加申込作成の煩雑さを、ICTを活用して軽減し、新たな会員の確保を図ることができた。

○メーリングリストを作成し、悪天候の際の態度決定の連絡や、練習の際の持参物の連絡などに活用することで、スムーズな事務連絡を行うことができた。

○学校、参加者、保護者、指導者を繋ぎ、地域部活動の趣旨や本市の方向性をととの効果的な連携を図り、運営団体・実施主体と中学校の連絡調整等を行うことができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

- ・各クラブの活動の際には教育委員会が共に参加し、活動がスムーズに進むよう補助を行ったり、開錠や施錠を行うなどのサポートを行った。
- ・協議会の調整等を実施し、関係団体との連携に努めた。
- ・学校、参加者、保護者、指導者にICTを活用し、連絡調整を実施した。

今後の課題と対応方針

- 公的支援の対象とする地域クラブの基準がないため、今後、都道府県が示した地域スポーツクラブ活動の要件等を踏まえ、要件や基準等を調整して設定し、登録・指定等を実施する必要があると考える。
- コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、資質向上を図る方策の検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 市内の中学生であれば希望する生徒は誰でも参加できるよう、また、自分が中学校で所属している部活動の種目以外でも参加を認め、マルチスポーツの考え方から、複数の運動に関われるよう配慮した。
- 本市は市内が大きく二つのエリア（石岡地区・八郷地区）に分かれているため、生徒が参加しやすいよう、市の中心部の施設を活用したり、活動場所を二つのエリアで交互に実施したりした。
- 活動場所の確保については、市の施設を利用するようにすることで、施設利用料をかけずに、よりよい環境で生徒が活動できるように配慮し実施した。

各自治体の役割

- 石岡市教育委員会
 - ・地域クラブ運営、予算管理
 - ・関係機関との連絡、調整
 - ・理解促進に向けての広報
 - ・諸謝金等の事務処理

移動手段

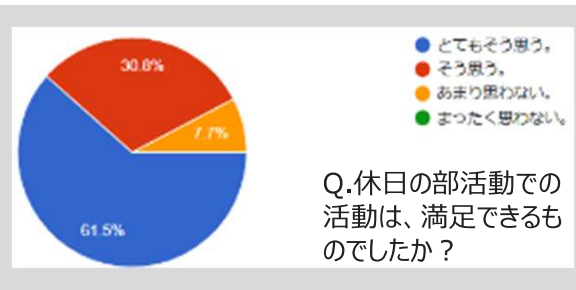
- 生徒の安全面の確保から、活動場所まで、保護者送迎を基本とした。
- 練習場所が学区内であった種目については、普段の通学同様自転車による移動を認めるなど、柔軟に対応した。

事務局運営の方法

- 石岡市教育委員会が中心となって各スポーツ団体の代表者と連絡、調整を行った。
- 総括コーディネーターが関係団体等との連絡調整を実施した。
- 受益者負担の考え方を基本として、本年度はスポーツ保険料800円（参加費）を保護者負担として徴収した。
- 各種目への生徒募集や出欠席の連絡等は、ICTを活用してQRコードやフォームからの入力で完了するようにすることで、保護者の負担軽減を図った。

取組の成果

- 活動に参加した生徒は、4種目で61名であった。募集期間も広く設け、希望する全ての生徒を柔軟に受け入れたことで、練習に参加した生徒から評判を聞いた生徒が後から加入する様子も見られた。
- 実施内容に対し、生徒アンケート結果での満足度92.3%が満足との回答を得ることができた。



出典:生徒アンケート（令和7年3月7日時点）
「令和6年度石岡市休日の地域部活動（運動部）を体験して」より

今後の課題と対応方針

- 移行に取り組む中学校の部活数を段階的に増やし、令和13年度末までに域内の全ての運動部活動を地域クラブ活動へ移行していく。
- 平日の部活動での指導者の確保や、活動場所への交通手段等が課題である。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

少子化等の現代的な課題により、部活動においてチームを結成し集団で練習に取り組む機会が少なくなりつつある中、学校の枠を超え、同じ種目で技能の向上を目指し、チームワークを構築して協働するような体験は、引き続き重要であると考えます。

そこに、各種目の専門性の高い指導者を迎え、高度な指導を生徒に提供できたことは、生徒の活動への満足感、技能面の向上、他者との協働的な学びの面などで大変効果的であった。

参加した生徒の指導者への感想のコメントの中にも「いろんな指導者の方々と稽古ができてとてもいい経験をさせていただきました。一つ一つ丁寧にアドバイスしてくださりありがとうございました。」との記載があるなど、地域で活動するメリットを感じている姿も見られた。しかし、「参加人数が少なかった」ことを残念だとのコメントが生徒、保護者からも挙げられたのは期待の裏返しでもあると捉え、部員募集に向けて、周知を図っていきたい。

また、本活動に対する保護者の感想には、目標に向かって頑張る生徒への励ましの言葉や頑張る姿を賞賛する声が寄せられていた。保護者の理解もあり、生徒の送迎を含めた協力的な対応によってスムーズな運営をおこなうことができた。

生徒を心身ともに育成しようという地域ぐるみの取組として、本事業の部活動は生徒、保護者、指導者を機能的に繋ぎ、運営ができた。

●成果の評価

- ・他校の生徒や異年齢の集団とともに、**共通の目的に向かって協働する楽しさや喜び**を、生徒自身が感じることができた。
- ・**専門性の高い複数の指導者から質の高い指導**を受けることができ、参加した生徒が**取り組んだ種目への興味関心・技術の向上**を図ることができた。
- ・**市保有の公共運動施設を練習場所として確保できたことで、定期的に練習を行える場を確保**することができた。
- ・**練習の成果を発信する機会**として、種目によっては試合形式などを行うことで、生徒がその種目に取り組む楽しさや達成感、充足感を得ることができた。
- ・本年度の各種目の取組内容を、中学校の新入生説明会で説明したことにより、**部活動地域移行を広く周知する機会**とすることができた。

●今後に向けて

今後は、実施の種目や回数を増やすなど、生徒の豊かな体験の場を確保していきたい。その上で、マルチスポーツの考え方を生徒、保護者、指導者、学校、地域など生徒に関わる全ての人に伝え、理解を促していく。

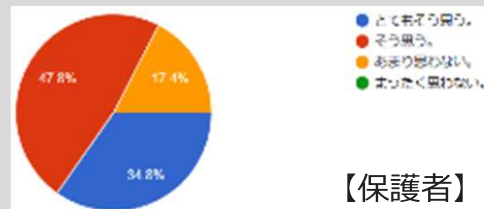
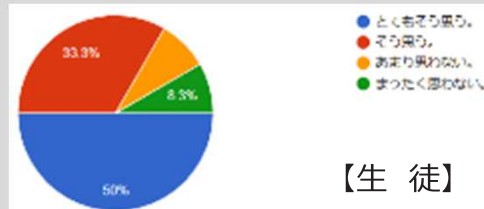
さらに、保護者の負担を軽減するという点からも、会場までの移動手段を保護者送迎限定とせず、市の他部局と連絡調整してオンデマンドタクシーや市バスの活用を検討するなど、部活動地域移行を市を挙げて推進していく必要があると考える。

2.実証内容と成果②

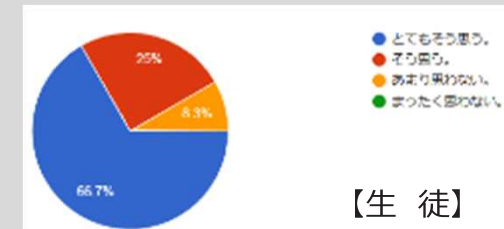
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.同じ地域で、別の学校の生徒と文化・スポーツ活動を一緒に活動したい（させたい）と思いますか？



Q.休日の部活動での活動は、満足できるものでしたか？



Q.お子様たちへのへのメッセージをお願いします。【保護者】

このような活動ができる場を大切にしたい

楽しい中学生ライフを！

経験した事を今後の活動に活かして欲しいです

先輩が練習で学べたことを少しでも今後につなげて欲しいです

目標に向かって頑張る楽しさを感じてほしい

よく頑張りました！

とりあえず、なんでもチャレンジして欲しい

たくさん体を動かして、元気な体づくりをしよう！

部活動を通じて様々な経験を積み重ねて下さい。そして、何より楽しんで下さい。

●参加者の声

中学生の声

いろんな指導者の方々と稽古ができてとてもいい経験をさせていただきました。一つ一つ丁寧にアドバイスしてくださりありがとうございました。

中学生の声

いろいろな学校の友達と切磋琢磨することができた。

指導者の声

同じスポーツに取り組む生徒のみなさんに、「石岡市のみんなでうまくなろう」と声をかけさせていただきました。また、人と人が関わるうえで思いやりや礼儀の大切さも伝えさせていただきました。みなさん、違う学校に通っているとは思えないほど、とてもよい雰囲気でも活動していました。

保護者の声

帰ってくると、今日は何やったんだよ！楽しかったー！と報告してくれて、参加させて良かったなと思いました。普段とは違う練習、環境、メンバーで楽しく練習できたのは、とてもいい経験だと思います。

保護者の声

本人は学校とは違う場所、違うコーチでのサッカーとても楽しかったようです。充実した時間が過ごせたと思います。

石岡市生徒・保護者アンケート（活動期間：令和6年12月～2月）の結果抜粋

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

活動に参加していただいた生徒、保護者、指導者にアンケートを行った。生徒、保護者からは肯定的な回答が多く見られ、「休日の部活動での活動は、満足できるものでしたか？」の問いには生徒83.4%、保護者100%が肯定的に回答していた。また、「同じ地域で、別の学校の生徒と文化・スポーツ活動と一緒に活動させたいと思いますか？」の問いには、生徒100%、保護者82.3%が肯定的回答をしていた。他者と関わりながら、楽しく活動できていた様子がアンケート結果からうかがえる。意欲的に取り組む生徒たちに対し、保護者からの温かなメッセージも寄せられていた。

広報活動としては、作成しチラシを市役所庁舎内や中央公民館に掲示を依頼したり、希望者が自由に手に取れるよう設置、配付したりした。また、各学校で生徒に周知する際には、一人一台端末にチラシをデータで配付するなど、学校の校務DXも図りながら周知を図った。

競技によっては「参加者が少なかったことが残念」「部活の大会の日と重なったため参加できなかった」という声も寄せられたことから、より一層の周知と学校の部活動との調整等が必要であると考えられる。

石岡市中学生休日のスポーツ活動

陸上競技の部

参加者大募集!

陸上競技を専門にやらない人にも、「楽しみたい」「体力を向上させたい」「汗をかくのが好き」という思いを叶える人にも参加できます。
短距離走、中・長距離走の両方など、参加者の能力や希望に応じて、いくつかのグループに分かれて活動します。

練習時間 9:00~12:00 練習日 12/14e 12/22e
参加費 ¥800 (金) 石岡運動公園

参加対象者 石岡市立中学校1,2年生
集合・解散 現地集合・現地解散
指導者 石岡市陸上競技連盟

石岡市中学生休日のスポーツ活動

剣道の部

参加者大募集!

剣道は剣道のみならず、礼儀作法や精神力の鍛錬など、多くのメリットがあります。
初心者歓迎です。

練習時間 9:00~12:00 練習日 12/14e 12/22e
参加費 ¥800 (金) 八郷運動公園体育館武道場

参加対象者 石岡市立中学校1,2年生
集合・解散 現地集合・現地解散
指導者 石岡市剣道連盟

石岡市中学生休日のスポーツ活動

野球の部

参加者大募集!

未経験でもOK! 楽しく学ぼう!!

練習時間 9:00~12:00 練習日 12/15e 12/22e
参加費 ¥800 (金) 染谷野球場

参加対象者 石岡市立中学校1,2年生
集合・解散 現地集合・現地解散
指導者 少年野球指導員

石岡市中学生休日のスポーツ活動

サッカーの部

参加者大募集!

サッカーを専門にやらない人にも、「楽しみたい」「体力を向上させたい」「汗をかくのが好き」という思いを叶える人にも参加できます。
初心者歓迎です。

練習時間 9:00~12:00 練習日 12/15e 12/22e
参加費 ¥800 (金) 柏原野球場

参加対象者 石岡市立中学校1,2年生
集合・解散 現地集合・現地解散
指導者 少年サッカー指導員

【生徒への参加啓発チラシを市役所庁舎や市中央公民館でも掲示、配付】

出典:石岡市教育委員会学校教育課作成チラシ

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【陸上競技の部】総合運動公園でのトレーニング



【剣道の部】昇段審査前の指導に聞き入る生徒たち



【軟式野球の部】少年野球のコーチを指導者に迎えて



【サッカーの部】パスからのシュート練習

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、市のスポーツ連盟、各競技団体

市長部局、市教委（総括コーディネーター）、各種目担当責任者

経過

令和5年度から、市教育委員会が運営団体の中心となり、検討委員会を設置した。令和6年度は、運営団体と指導者、行政等で組織する連絡協議会を設置し、各種目の活動にあたっての運営マニュアルや指導の方針を検討した。令和8年までに新たな地域クラブ体制を構築する推進計を策定している。

実施内容

12月からは市内5中学校の14部活動において、地域クラブ活動へ参加する取組を開始し、部活動地い展開として4種目が実施された。この内、1つのクラブは1つの中学校の生徒が参加する形態となっているが、生徒が希望すれば学校の部活動い所属していない活動であっても、市内全域から参加可能とした。

実施にあたって生じた課題

休日の地域部活動を終え、生徒と保護者のアンケート結果で指摘された共通の主な課題として、「参加人数が少ない、女子が少ない」等の意見が寄せられた。また、一人の保護者からは「場所が遠く送迎が負担」との回答もあった。想定より少なかったが市としての対応が求められている。

運営面では、種目によっては生じる指導者不足が課題であり、持続可能で多様性のある地域部活動実現のためには改善が必要であると捉えている。スポーツ少年団や地域の企業等へ指導者募集の案内を出すなど、関係者への積極的な働きかけを検討している。

今後の展開

令和8年から13年にかけて、市内すべての中学校において、休日の地域部活動を毎週実施できるよう拡大していく。また、持続可能な運営のため、受益者負担の点からも、適切な会費負担を検討していく。

本年度、新1年生とその保護者の理解を得るため、中学校の新入生説明会の際には、市教育委員会担当者が地域部活動の説明を行った。今後、パンフレットや説明動画等を作成し、本事業への理解を促していく。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた見通し

石岡市の部活動地域展開イメージ図

【石岡市部活動地域展開でめざす姿】

生涯にわたってスポーツ・文化活動を豊かに楽しむ基礎づくり

ニーズに応じながら多様なスポーツに親しむ環境の提供
【マルチスポーツの考え方】

持続可能で多様なスポーツ・文化活動環境の確保

多様な他者との
連携

中学校の生徒

地域の指導者

小・高校との
連携も視野に

【持続可能】
既存のノウハウ・環境活用

【多様性】
多様な活動機
会の保障と自
己選択

【マルチスポーツ】
他競技を経験することは
身体機能の向上やケガの
防止だけでなく、複数の
コミュニティへ所属を通
じて、子供たち自身の社
会性や協調性等を育む機
会の増加にもつながるな
ど教育的意義も大きい。
【スポーツ庁HPより】

持続可能・多様性を保障する部活動地域展開 実現のために（4つの施策）

活動の担い手・支え手の確保

- ・豊かな専門性
- ・地域や教員含めた様々な世代

活動の場の確保

- ・学校や市の施設など
環境の整った場の活用

地域循環型へ

- ・地域振興も視野に
- ・参加者から指導者へ

推進母体の確立

- ・持続可能な活動の推進
- ・運営方法、運営団体の整備

地域展開完全実施までのスケジュール（目標）

R5～

- ・実証事業（3団体）
- ・アンケートの実施

R6～

- ・休日地域部活動
実証事業（5団体）
- ・中体連への説明

R7～

- ・実証事業（7団体）
- ・種目の調査・整理
- ・活動場の調査・整理
- ・指導者の確保・整理

R8～13

- ・実証事業の継続
- ・実施団体の拡充
- ・推進体制の整備

- ・スポーツ
文化活動
地域展開
の開始

- ・陸上競技、剣道、吹奏楽
- ・児童生徒、保護者、教員
の意識や実態把握

- ・3団体＋野球、サッカー
- ・オブザーバー招聘
- ・中体連でのプレゼン

- ・5団体＋卓球、テニス
- ・総体までは月1日、新チームから月2日

- ・休日の部活動完全移行
（団体数・活動日数）

- ・平日含む地域展開完全移行
- ・広域連携の可能性の検討

出典：石岡市中学生地域スポーツ・文化活動推進教委議会で示す資料（案）